

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と とるべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波 警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波 警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波 注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

津波警報・注意報と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の来襲に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

情報伝達手段について

津波が発生する危険性があるときは、次の方法でみなさんへお知らせします。

また、大きな地震があったときは、テレビやラジオなどにより情報を集め、適切に行動しましょう。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| ①防災行政無線 | ⑤ BizFax (学校、町会等) |
| ②緊急速報メール (携帯電話、スマートフォン) | ⑥ 函館市役所ホームページ (災害・緊急情報) |
| ③ 函館市ANSINメール | ⑦ 函館市公式LINE |
| ④ 函館市防災ツイッター (@bousai_hakodate) | お問い合わせ 災害対策課 ☎21-3648 |

函館市公式LINEでハザードマップを閲覧する

函館市公式LINEから、2ステップで簡単にハザードマップを表示することができます。



ステップ1

総合メニュー内の「防災情報」をタップ



ステップ2

表示される防災メニューから「ハザードマップ」をタップ



函館市公式LINE友だち登録方法

右記のQRコードをお使いのスマートフォンで読み取ることで、友だち登録することができます。

